

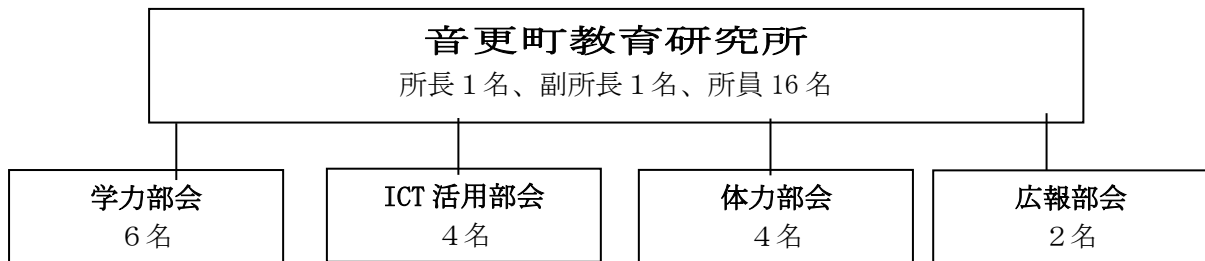
# 令和8年度 音更町教育研究所事業計画

## I 音更町教育研究所における運営

### 1 活動方針

- (1) 本町教育の今日的な課題解決のために、教育実践に関する調査研究、教育資料の収集・作成、各学校における研修事業の助成などを行い、学校、関係機関、地域社会と連携・協力し、本町教育の充実・向上を図る。
- (2) 本町教育の実態を組織的、系統的に把握し、実証的データを提供する調査に基づいて、教育の理論と実践に関する研究を推進する。
- (3) 所員の研修を深め、資質向上に努める。
- (4) ICT 機器活用推進のための必要な情報および技能等の収集および取得を目的とし、広く町内教職員の研修を深め、資質向上に努める。

### 2 組織構成図



### 3 会議の開催

- (1) 所員会議・研修会の開催 ～年 7 回（4・5・6・9・11・12・2 月各 1 回）
- (2) 所長・副所長会議 ～年 2 回程度～
- (3) 所長・副所長・部長会議 ～年 2 回程度

## II 主な事業計画

### 1 指導力向上事業

- (1) 健やかな体の育成【体力部会】
  - ・ 児童生徒の体力向上と運動習慣の確立に向けた指導者の指導力向上を図る
  - ・ 体育科授業の充実と運動習慣の確立に向けた実践例を紹介（関係機関との連携）
- (2) 確かな学力の向上【ICT 活用部会】
  - ・ ロイロノートの効果的活用による授業改革の方策を探る研修機会を提供
- (3) 豊かな人間性の育成【学力部会】
  - ・ 令和 9 年度道徳教育研究部会の立ち上げに向けた町研究所としての方向性の検討

### 2 音更町児童生徒実態分析事業

- (1) 「音更町の子どもの学力」発刊 ～10 月予定【学力部会】
  - R 7 年度実施の標準学力調査結果の分析考察
  - 調査結果分析と考察、授業改善に向けて（小学校算数科）

### 3 研修活性化事業

- (1) 授業改革研修会
  - ・ 外部講師を招聘し、授業改革の実践事例の紹介、研修機会の設定
- (2) 外部講師派遣
  - ・ 音更町教育推進の重点等に沿った授業研究等に、要請に応じて外部講師を派遣

#### 4 広報事業【広報部会】

- (1) 所報「おとふけ」の発行 ～年2回（8月・2月）

#### 5 所員研修（所員の資質向上）事業

- (1) 「十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員」の派遣・協力
- (2) 「道東地区教育研究所所員研修会」への派遣 令和8年10月3日 オホーツク
- (3) 「研究発表会」（十勝教育研究所主催）への派遣 令和9年2月 十勝教育研修センター
- (4) 情報収集等、研究会等への所員派遣

### Ⅲ 活動のまとめ等

- 1 「音更町の学力の傾向と改善のポイント」（10月発刊）
- 2 所報「おとふけ」（8月・2月発行）

## 令和8年度 土幌町教育研究所 事業の概要

### 1 運営の目標

- (1) 「土幌町の教育の特色」に基づき、「生きる力」を身に付けたたくましい子どもの育成に寄与する。
- (2) 教育研究を総合的な見地から立案し、計画的、実証的、科学的な研究を進める。
- (3) 十勝管内外の教育研究所や教育関係機関との連携を図り、研究の深化と交流に努める。

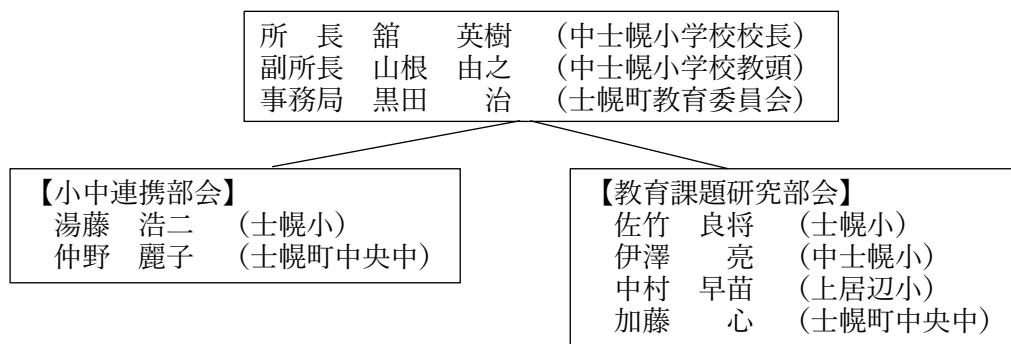
### 2 運営の方法

- (1) 教育に関わる今日的な課題について、部会を設けて研究を進める。
- (2) 学校や関係機関との連携を密接にし、学校現場の実態や動向を踏まえた効果的な研究を行う。
- (3) 教育関係資料の収集及び教育情報の積極的な提供を行う。
- (4) 研究成果を研究紀要としてまとめ、日常の教育活動への活用を図る。

### 3 研究事業計画

- (1) 小・中連携の充実に関わる研究（継続）～幼・小・中・高のつながりを見通した連携の推進～  
小・中学校の9年間を見通した教育課程の構想と実現に向け、小学校から中学校への滑らかな接続（つながり）ができるような教育活動を推進する。
  - ① テーマを設定し、教職員の交流会を実施する。  
※「生活行動」「小学校で身に付けさせる学力」「中学校へ引き継ぐ資質・能力」等  
※ 土幌高校教職員との交流についても検討する。
  - ② 中学校教諭による小学生への授業の実施（主に第6学年）
    - ・小学校間の交流学习の実施※ 中土幌小・上居辺小は土幌町複式教育研究会による集合学習
    - ・外国語・理科・体育科の専科教諭等の活用
    - ・幼稚園、保育所との交流・連携についても視野に入れる。
  - ③ 授業（参観日、校内研修を含む）や学校行事の公開を周知し、相互参観の機会を設ける。
- (2) 教育課題研究部会（新規）
  - 知識及び技能の統合的な理解(高次の資質・能力)を軸に、深い学びを生む授業づくり —  
各教科・領域に共通する教育課題に焦点を当て、「知識及び技能の統合的な理解(高次の資質・能力)」や「深い学びを生む授業」の在り方について研究を進める。
    - ① 知識及び技能の統合的な理解を意識した単元構想・授業づくりの研究
    - ② 思考力・判断力・表現力を育成する「深い学び」を実現する指導方法の検討
    - ③ 授業実践を通じた研究協議及び成果の共有
    - ④ ICTの活用については、学習効果の観点から必要に応じて不定期に検討する。
    - ⑤ 小学校社会科副読本『しほろ』については、授業での効果的な活用の観点から、必要に応じて不定期に検討する。
- (3) その他
  - ① 十勝管内教育所連盟共同研究他各種研修会への積極的に参加する。
  - ② 研究所の活動を紹介した『所報』を発行する。
  - ③ 1年間の活動をまとめた『研究紀要』を3月に発行する。

### 4 土幌町教育研究所組織



## 令和8年度 上士幌町教育研究所 事業計画

### 1 活動方針

- (1) 上士幌町子どもビジョンの具現化を目指し、本町教育の今日的課題の解決に努める。
- (2) 各学校の教育実践に資する資料の収集と提供に努める。
- (3) 関係機関・団体との連携を図り、事業の円滑な推進に努める。
- (4) 所員・学校関係職員の研修を深め、資質の向上に努める。
- (5) かみしほろ学園推進本部の方針に基づき、認定こども園・小学校・中学校・高等学校の連携に努める。

### 2 事業計画

事業内容	詳細
(1) 標準学力検査、icheckの分析・交流	小・中学校での分析結果の交流（3月）
(2) 家庭学習の手引きの発行・改訂	5月に配付、2月に改訂
(3) 学習規律の取組	4月に掲示ポスター（年度の重点課題）を発行し、毎月の児童アンケートで検証
(4) 情報教育	・ICT活用とプログラミング教育に係る授業交流と研修会の開催 ・校内でのタブレット利用のルールづくり及びICT推進教師による情報モラル教室の実施（年2回） ・町P連と連携した「ノースクリーンデー」の取組の推進
(5) かみしほろ学の推進	・3・4年生版郷土読本の見直し ・総合的な学習の時間の教育課程の見直し
(6) iBノート、キャリア・パスポートの見直し	デジタル化も含め使いやすいノートとなるよう見直し
(7) 十勝教育研究所事業への参加	十勝管内教育研究所所員研修会及び教育講演会等への参加
(8) 共同研究事業への積極的な参加・協力	共同研究員の派遣、研究発表大会への参加
(9) 北海道教育研究所連盟事業への参加	道研連及び道東研への参加
(10) 所員会議の開催	担当者会議を随時開催
(11) 研修会の企画・運営	11月2日（月）教育講演会予定

### 3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- (1) 上士幌の子どもの学力
- (2) 家庭学習の手引き改訂版
- (3) 学習規律ポスター
- (4) 校内タブレット利用の心得

### 4 所員名、所属名、分担

役 職	氏 名	所 属	本町所員歴
所 長	坂 下 亮 宏	上士幌小学校 校長	2年目
副所長	佐 藤 英 知	上士幌小学校 教頭	1年目
所 員	松 原 和 美	上士幌小学校 教諭	1年目
所 員	宮 古 智 美	上士幌小学校 教諭	1年目
所 員	矢 野 一 樹	上士幌小学校 教諭	1年目
所 員	長谷川 知 英	上士幌小学校 教諭	2年目
所 員	西 川 広 一	上士幌小学校 教諭	1年目
所 員	高 瀬 悟 史	上士幌小学校 教諭	1年目
所 員	松 久 麻 美	上士幌中学校 教諭	1年目
所 員	板 垣 俊	上士幌中学校 教諭	1年目
所 員	久 富 裕 太	上士幌中学校 教諭	1年目
所 員	倉 田 智 美	上士幌中学校 教諭	1年目
所 員	関 竜 介	上士幌中学校 教諭	1年目
事務局	深 川 優 菜	上士幌町教育委員会	1年目

### 5 その他

- (1) 教職員アンケートを基に、今日的な教育課題の解決に向けた研修会等を開催し、教職員の資質能力の向上に努める。
- (2) かみしほろ学園と連携し、情報の共有を図るとともに、本町の教育課題の解決に努める。

# 令和8年度 鹿追町立教育研究所 事業計画

## 1 所員

所 長	増田 覚（瓜幕小学校）	所 員	島川実花木（通明小学校）
副所長	渡邊 慎二（瓜幕小学校）	所 員	船越 雄人（笹川小学校）
所 員	千葉 春樹（鹿追小学校）	所 員	松園 貴之（鹿追中学校）
所 員	安田 英憲（鹿追小学校）	所 員	奥平 和也（鹿追中学校）
所 員	新田 遼（瓜幕小学校）	所 員	林 和子（瓜幕中学校）
協力員	高嶋 幸太（教育委員会）	協力員	シンボ・グレン（教育委員会）

## 2 活動方針

人間性豊かな児童・生徒の育成を期して、創意に富む地域に根ざした教育研究の推進に努める。

- (1) 今日的な教育課題に対応した調査研究を行い、各学校の活用に資する。
- (2) 地域の実態を踏まえ、学習指導や生徒指導上の教育諸課題に応える解決方法手段について調査研究をし、各学校での活用に資する。
- (3) 学校教育の課題に応える現職教育の充実に努める。
- (4) 教育実践上の悩みや問題に応えるため、資料の収集や紹介に努める。

## 3 今年度の事業内容

- (1) 探究学習の実践的研究および研修会開催
- (2) ICT活用における情報リテラシーの整備・共有
- (3) 視察研修

## 4 事業計画（所員会議等）

### （1）部会構成

- ・今年度は部会を探究力向上とICT教育の2つの部会に分ける。

### （2）所員会議等各種会議について

各種会議	内容	担当
第1回所員会議 5月 7日(木) ひなたぼっこ	*年間事業計画審議	
第2回所員会議 6月 中旬 ひなたぼっこ	・部会ごとの活動	
令和8年度十勝管内教育研究所所員 研修会(芽室町) 7月 2日(木)	*管内教育研究所所員研修会	全所員参加
第2回所員会議 7月 中旬 ひなたぼっこ	・部会ごとの活動	
令和8年度 道東地区教育研究所所員研修会 (網走市) 8月20(木)～21日(金)		副所長 + 所員
令和8年度 北海道教育研究所連盟研究発表大会 (釧路市) 8月27(木)～28日(金)		所長
第3回所員会議 9月 上旬 ひなたぼっこ	・部会ごとの活動	
令和8年度教育講演会 11月12日(木)		オンライン開催
第4回所員会議 11月 中旬 ひなたぼっこ	・部会ごとの活動	
研究所主催研修会 12月 中旬	・町内教職員対象の研修会	
十勝教育研究所研究発表大会 令和 9年 2月 4日(木)		オンライン開催
第5回所員会議 2月 下旬 ひなたぼっこ	・年度末反省	

## 5 その他

※教育研究所関係のデータ保存先

Teams → 小中学校グループ → 鹿追町立教育研究所 → ファイル → 令和8年度  
→ 所員会議 → 第〇回所員会議

# 令和8年度 新得町教育研究所 事業計画

## 1 活動方針

- (1) 本町における教育の進展改善に資するため、教育研修資料の収集や教育の専門的事項の調査研究を進めるとともに、実践的研修機会および教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- (2) 教育研究所員が研修を深め、本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、関係各機関との連携をよりいっそう強め、研究研修の質の向上を目指しその課題解決に努める。

## 2 事業内容

- (1) 学校教育の情報化（児童生徒一人一台端末の効果的な活用について）
  - ①児童生徒の ICT 活用能力を高める授業改善
  - ②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための ICT の活用  
・ e-library 学習アプリの活用推進（所員研修会、町内職員向けに講習会を実施）7/29
- (2) 各種調査研究
  - ①標準学力調査の結果データ等の活用の研修  
※R7年度 町内4年生・中学1年生の学力の分析と周知
  - ②『汎用的な思考の基盤』の可視化に向け、新機軸の調査  
※「読解力スキルテスト」の試行・検証
- (3) デジタル副読本の活用の推進  
デジタル副読本の使用方法についての研修（R6年度末に完成）
- (4) 広報事業
  - ①「所報」の発行 No.1（9月中旬予定）  
No.2（3月下旬予定）
- (5) 十勝教育研究所との連携
  - ①共同研究への参加と研究成果の還流（所員の派遣：十勝研究所からの依頼を校長会で調整）
  - ②十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会  
期日 令和8年5月28日（木）（十勝教育研修センター）
  - ③十勝管内教育研究所所員研修会  
期日 令和8年7月2日（木） 13時30分～16時10分  
会場 芽室町中央公民館（芽室町東3条3丁目1番地）
  - ④道東地区教育研究所員研修会  
期日 令和8年8月20日（木） 13時頃～  
令和8年8月21日（金） 12時頃まで  
会場 オホーツク・文化交流センター（網走市北2条西3丁目3）
  - ⑤教育講演会  
期日 令和8年11月12日（木）  
会場 Zoom によるオンライン開催  
配信側：十勝教育研修センター（幕別町札内暁町 290 番地の2）  
受信側：各参加者の勤務先など
  - ⑥十勝教育研修所研究発表大会  
期日 令和9年2月4日（木） 14時30分～16時35分  
会場 Zoom によるオンライン開催  
配信側：十勝教育研修センター（幕別町札内暁町 290 番地の2）

受信側：各参加者の勤務先など

(6) 北海道教育研究所連盟との連携

①令和8年度第81回北海道教育研究所連盟研究発表大会釧路大会（予定）

期日 令和8年8月27日（木）

令和8年8月28日（金）

会場 釧路公民館 ※ハイブリッド開催

3 所員の構成と担当 ※敬称略

職名	氏名	所属学校	任 務 ・ 担 当
所 長	古村 俊大	屈足南中	総括、渉外
副所長	三瓶 真智香	屈足南小	事務局、会計、全体統括
所 員	合田 真也	新得小	
所 員	笹井 千晶	屈足南小	
所 員	川田 健太郎	新得中	
所 員	朝日 誠	屈足中	
所 員	佐東 久徳	富村牛小中	
会 計	久保沼 菜月	教育委員会	会計

4 所員会議・研修会議の計画 第1回会議 5月8日（金） 15：30～

回	内 容	令和8年度期日	備 考
第2回	・研修会研究会 参加対応 ・各事業推進予定について（各担当より） ・研究員委嘱 事業部会	6月9日（火）	
第3回	・所員研修会 ・研修会、研究会参加対応 ・各事業推進について（各担当より）	7月 6日（月）	
第4回	・研修会、研究会参加対応 ・各事業推進について（各担当より）		夏季研修 e-ライブラリ
第5回	・各事業推進について（各担当より）	10月15日（木）	
第6回	・各事業推進について（各担当より）	11月 9日（月）	（遠隔）
第7回	・各事業推進について（各担当より）	12月 8日（火）	
第8回	・各事業年度反省と次年度に向けて確認	1月19日（火）	（遠隔）
第9回	・年度末反省、次年度へ向けて	2月22日（月）	

# 令和8年度 清水町教育研究所 事業計画

## 1 活動方針

- (1) 地域に根ざした研究所活動を推進する。
- (2) 学校及び本町の要望を生かし、各校と連携協力を図り業務を推進する。
- (3) 資料・情報提供の充実を図る。

## 2 事業計画

- (1) 今日の教育課題に関する研究
  - ① 小中一貫教育の充実に向けた取組
    - ・「十勝清水学」の系統性などに関する資料収集及び資料提供
    - ・先進校の視察研修・活動事例紹介
  - ① 教職員研修会の開催
    - ・町内各校や教職員のニーズに応じた研修内容  
(特に、デジタル学習基盤の効果的な活用に関する内容)
    - ・実技研修会の開催
- (2) 小学校社会科副読本「しみず」の改訂（令和8年度末に完成予定）
  - ① 改訂方針、組織体制及びスケジュールの明確化
  - ② 改訂に向けた研究及び編集作業
- (3) 研究所の発行物
  - ① 研究所報第69号（8月予定）
  - ② 研究所報第70号（12月予定）
  - ③ 研究紀要（3月予定）
- (4) 所員研修の充実
  - ① 十勝管内教育研究所所員研修会 7月 2日（木）芽室町
  - ② 第81回北海道教育研究所連盟研究発表大会（釧路大会）  
8月27日（木）・28日（金）釧路町
  - ③ 道東地区教育研究所所員研修会 8月20日（木）・21日（金）網走市
  - ④ とかち教育講演会 11月12日（木）オンライン
  - ⑤ 十勝教育研究所研究発表大会 2月 4日（木）オンライン
  - ⑥ 道内・道外視察研修
- (5) 道立教育研究所・十勝教育研究所との連携・協力
  - ① 十勝管内教育研究所業務への協力～共同研究者の派遣（清水小 大江教諭）
  - ② 北海道教育研究所連盟事業への参加、調査の協力
- (6) 研究資料及び学校用図書収集・整理
- (7) 所員会議の開催（6月、7月、9月、11月、12月、2月 年6回開催予定）

## 3 所員名・所属名

役職	所員名	所属名	
所長	小 副 川 浩	清水町立御影小学校	新
副所長	伊 藤 健	清水町立御影中学校	新
所員	戸 田 恵 文	清水町立清水小学校	
所員	大 江 陽 子	清水町立清水小学校	
所員	栗 林 壺 地	清水町立御影小学校	
所員	北 林 孝	清水町立清水中学校	
所員	土 井 誠 人	清水町立清水中学校	新
所員	筒 井 美 有	清水町立御影中学校	新

## 令和8年度 芽室町教育研究所 事業計画

### 1 活動方針

- (1) 教育研究所員の研修を進め本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、その課題解決に努め教育の充実に資する。
- (2) 教育研究資料の収集や調査研究を進め、町内各学校の教育実践に役立つ資料の提供に努める。

### 2 事業推進内容

- (1) AI 時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究
  - ① 「3：7の学び」を核とした芽室町学びの基本スタイルに関する実践検証 (継続)
    - ・ 指導案・単元指導計画・ルーブリック (児童生徒へ評価項目や到達度を明確に示したもの) 等の蓄積
    - ・ 自己調整学習の具体的実践例～Qubena やロイロノート等活用 (継続)
  - ② 芽室町における生成AI利用に関するガイドラインの作成 (新規)
- (2) めむろ未来学の検証改善について
  - ・ 子どもが「ワクワク・ドキドキ・芽室にクギツケ」になる授業づくりの改善・充実 (継続)
  - ・ 授業研究の促進、及びデータベースへの指導案・資料等の蓄積。
  - ・ 中学校におけるLifeisTechを活用したプログラミング教育の推進：総合的な学習の時間や特別活動等における活用例の蓄積。
- (3) 地域教材のテストのデジタル化 (継続)
  - ・ 地域学習書「めむろ学」のデジタル化にあわせて、テストもデジタル版を作成する
- (4) 十勝教育研究所共同研究への協力 研究員派遣 (依頼連携)
- (5) 各種研究会・研修会への参加 (毎年実施)
  - ・ 道東地区教育研究所所員研修会 (網走)、十勝管内教育研究所連絡協議会所員研修会への参加
  - ・ 教育講演会への参加
  - ・ 十勝教育研究所研究発表大会への参加
  - ・ とちか教育講演会、各種教育講演会への参加
  - ・ 全道教育研究所所員研修会 (釧路) への参加
  - ・ その他各種研究会・研修会への参加 (所員研修 道研、先進地域等への視察研修)

### 3 所員の構成と任務

役 職	氏 名	学 校 名	主 な 業 務 内 容
所 長	菅 原 晴 彦	芽室西小学校	総括渉外 (5) 各種研究会・研修会への参加
副 所 長	野 村 真 実	芽室西小学校	事務局／研究所報の発行 2回 (5) 各種研究会・研修会への参加
所 員	小 椋 春 香	芽 室 小 学 校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (3) 地域教材のテストのデジタル化 (4) 十勝教育研究所共同研究への協力 (共同研究員)
〃	西 川 祐 平	上美生小学校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (3) 地域教材のテストのデジタル化 (5) 各種研究会・研修会への参加
〃	松 浦 諒	芽室西小学校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (3) 地域教材のテストのデジタル化 (5) 各種研究会・研修会への参加
〃	古 高 明日美	芽室南小学校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (3) 地域教材のテストのデジタル化 (5) 各種研究会・研修会への参加
〃	森 田 明 香	芽 室 中 学 校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (5) 各種研究会・研修会への参加
〃	山 本 英 司	上美生中学校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (5) 各種研究会・研修会への参加
〃	木 村 莞	芽室西中学校	(1) AI時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む授業研究 (2) めむろ未来学の検証改善について (5) 各種研究会・研修会への参加
会 計	林 宏 明	町教育委員会	会計業務

- 4 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等  
 ・研究所報の発行 2回 (8月・3月)

5 令和8年度 事業推進計画

期 日	曜	研修会名・会議名等	会 場
4月 1日	火	4月1日付けで委嘱状交付 (2/2年任期)	
5月20日	木	第1回芽室町教育研究所所員会議	芽室町中央公民館
5月28日	木	十勝管内教育研究所連絡協議会総会 所長研修会	十勝教育研修センター
6月 2日	火	第1回共同研究員会議	十勝教育研修センター
6月18日	木	第2回共同研究員会議	Zoom
7月 日		第2回芽室町教育研究所所員会議	
7月 2日	木	十勝管内教育研究所所員研修会	芽室町中央公民館
7月 7日	火	第3回共同研究員会議	十勝教育研修センター
7月 日		令和8年度北海道教育研究所連盟夏季所員学習会	
8月25日	火	第4回共同研究員会議	十勝教育研修センター
8月 日		第3回芽室町教育研究所所員会議	
8月20日 ～21日	木 金	令和8年度道東地区研究所員研修会	オホーツク・文化交流 センター
8月27日 ～28日	木 金	令和8年度北海道教育研究所連盟大会	釧路町公民館
9月 日		第5回共同研究員会議	十勝教育研修センター
9月 日		第6回共同研究員会議	十勝教育研修センター
9月 日		第7回共同研究員会議	十勝教育研修センター
10月 8日	木	第8回共同研究員会議	Zoom
10月 日		第4回芽室町教育研究所所員会議	
11月 日		第5回芽室町教育研究所所員会議	
11月12日	木	とちかち教育講演会	Zoom
11月 日		令和8年度北海道教育研究所連盟冬季所員学習会	
12月 日		第6回芽室町教育研究所所員会議	
1月 日		第7回芽室町教育研究所所員会議	
1月15日	金	第9回共同研究員会議	十勝教育研修センター
1月27日	水	第10回共同研究員会議	十勝教育研修センター
2月 4日		十勝教育研究所研究発表大会	Zoom
2月 日		第8回芽室町教育研究所所員会議	

## 令和8年度中札内村教育研究所事業計画

### 1 活動の方針

中札内村の今日的な教育課題を受け、その解決のために方策及び教育実践に役立つ資料等の提供を行うとともに、村教育推進に必要な事業の推進に努める。

### 2 活動の重点

- (1) 各校が直面している教育上の課題及び地域の要望に基づいた調査、研究や資料の収集、提供に努める。
- (2) 村及び教育委員会が推進しようとする実践上の教育課題（教育行政執行方針）の計画、推進の樹立に努める。
- (3) 学校教育と社会教育との連携の在り方及びその推進について研究を進める。

### 3 事業内容

#### (1) 研究活動に関する事業

No.	事業	内容
1	小学校社会副読本の整備	副読本掲載資料等の整備
2	今日的な教育課題に関する研究 ・ふるさと教育の研究・推進 ・中札内村にかかわる検定活用	9年間の円滑な接続を見通した「中札内ふるさと学」の研究・整備 中札内検定の活用
3	小中高連携充実にに向けた研究推進 ・教職員向け研修会の開催 ・研修通信の発行	教職員向け研修会の開催
4	十勝教育研究所・共同研究	個別最適な学びと、協働的な学びを実現する教育活動の推進
5	家庭教育の充実にに向けた社会教育と学校教育の連携推進 家庭・地域と学校との連携推進	ふるさと教育に関する人材・資料等整備
6	所報の発行（年2回）	計画や成果の発信

#### (2) 十勝教育研究所研修活動に関する事業

No.	研修会	期日内容	会場
1	十勝管内教育研究所所員研修会	7月2日（木）	芽室町
2	十勝教育研究所研究発表大会	2月4日（火）	オンライン開催

#### (3) 研究所員と担当

役職	氏名	所属	主な担当事業
所長	田村 浩文	上札内小学校	教育に関する調査・研究、資料収集、研究所運営等
副所長	鈴木 雄也	中札内高等養護学校	小中高連携充実にに向けた研修推進等
事務局	鈴木 めぐみ	中札内小学校	研究所運営、会計、広報活動等
所員	小武海 博一	上札内小学校	ふるさと教育に関する研究、小学校社会副読本の整備等
所員	土橋 真理	中札内小学校	十勝教育研究所との共同研究の推進等
所員	木村 吾勝	中札内中学校	ふるさと教育に関する研究、小学校社会副読本の整備等
所員	伊藤 啓展	中札内村教育委員会	小中高連携充実にに向けた研修推進 二村連携担当等
所員	小田 大世	中札内村教育委員会	家庭教育充実にに向けた社会教育と学校教育の連携推進等

## 令和8年度 更別村教育研究所事業計画

### 1 活動方針

- (1) 更別村の教育の今日的課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題についての調査研究を進め、教育推進の充実に資する。
- (2) 各学校の教育実践に役立つ資料等の収集・提供に努める。
- (3) 所員の研修を深め、資質や能力の向上に努める。

### 2 事業計画

- (1) 幼保小中高及び地域と連携した教育活動の充実
- (2) 「さらべつふるさと学」の更新
- (3) いじめ、不登校未然防止の研究  
(i-check の実施、分析)
- (4) ICT 利活用の研究  
二村教育委員会連携教職員研修会の実施  
(令和8年7月29日(水)更別中央中学校)
- (5) 十勝教育研究所及び他町村との連携、協力  
(十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員)
- (6) 各種研究会・研修会の参加
  - ①令和8年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会
  - ②令和8年度十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会
  - ③令和8年度十勝管内教育研究所所員研修会
  - ④令和8年度二村教育委員会連携教職員研修会
  - ⑤令和8年度道東地区教育研究所所員研修会
  - ⑥令和8年度北海道教育研究所連盟研究発表大会
  - ⑦令和8年度教育講演会
  - ⑧令和8年度十勝教育研究所研究発表大会
- (7) 所報の発行
- (8) 研究のまとめ(『更別の教育』)

### 3 本年度の発行予定

- (1) 所報
- (2) 研究のまとめ(『更別の教育』)
- (3) 「さらべつふるさと学」(Web上)

### 4 所員、業務分担

役職	氏名	所	属	業務分担
所長	長澤 啓二	上更別小学校	校長	全体総括 会計 i-check 幼保小中高及び地域との連携
副所長	山野 圭	更別小学校	教頭	所長代行 所報・研究のまとめ さらべつふるさと学
所員	高木 涼太	更別小学校	教諭	「さらべつふるさと学」の更新 いじめ、不登校未然防止の研究 (i-check)
所員	西本 郁恵	更別小学校	教諭	
所員	原田 憲未	上更別小学校	教諭	ICT 利活用の研究
所員	梶川 このみ	更別中央中学校	教諭	二村教育委員会連携教職員研修会の運営
所員	伊部 今日実	更別中央中学校	教諭	十勝教育研究所共同研究員
所員	伊藤 啓展	更別村教育委員会	指導参事	二村教育委員会連携教職員研修会 ICT 利活用 さらべつふるさと学

- 更別村教育研究所 ・所在地：更別村立上更別小学校(所長 長澤 啓二)  
 ・連絡先：更別村立更別小学校(副所長 山野 圭)

# 令和8年度 大樹町教育研究所事業計画

## 1 活動方針

大樹町教育目標の具現化に向けて、大樹町における教育の総合的な調査研究及び学習内容や方法等の開発を行い、大樹町教育の振興に資する。

## 2 活動の重点

- (1) 本町教育における今日的な教育課題の解決に向けた方策や教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- (2) 日常の授業実践に結び付く教師の研修活動を支援し、教職員の資質能力の向上に努める。
- (3) 生涯学習振興のための研究・資料作成の推進に努める。
- (4) 十勝教育研究所や各教育研究所との連携を図り、教育研究の推進に努める。

## 3 事業計画

### (1) 研修活動

- ① 各種研修会・研究発表大会参加  
5月28日(木) 十勝管内教育研究所連絡協議会総会兼所長研修会【十勝教育研修センター】  
7月 2日(木) 十勝管内教育研究所所員研修会【芽室町中央公民館】  
8月20日(木)・21日(金) 道東地区教育研究所所員研修会【網走市】  
8月27日(木)・28日(金) 北海道教育研究所連盟研究発表大会【釧路町】  
11月12日(木) 教育講演会 ※オンライン開催  
2月 4日(木) 十勝教育研究所研究発表大会 ※オンライン開催 (全員参加)
- ② 十勝教育研究所との共同研究活動の推進(共同研究員:田村教諭)
- ③ 所員会議(年間3回開催)  
第1回 5月 7日(木)  
第2回 9月 3日(木) ~学調結果交流、共同研究中間報告、研修講座の準備など  
第3回 2月18日(木) ~今年度の反省、次年度へ向けて
- ④ 「大樹町教育の日」  
10月23日(金)【大樹町生涯学習センター】  
大樹小学校、大樹中学校、大樹高校参加(大樹学発表会、合唱発表など)
- ⑤ 大樹町コスモスコンサートの共催

### (2) 広報活動

- ① 所報「たいき」の発行(131号~6月発行、132号~3月発行)
- ② 各種関係機関、団体との連携等

### (3) 研究活動

- ① 研修講座 11月 日( ) ※内容未定
- ② 全国学力・学習状況調査の分析(町広報誌にも掲載 小学校10月号、中学校11月号)
- ③ 標準学力調査の分析
- ④ 大樹町生涯学習推進への協力(「大樹町学校の歴史」作成協力)

## 4 所員名簿

	氏名	所属	分担
顧問	栗原賢次	大樹町教育委員会	指導・助言
所長	大石浩之	大樹中学校	代表・統括
副所長	内山英俊	大樹小学校	事務局・会計・研修講座・歴史・所報
所員	小室日向子	大樹小学校	所報・研修講座
所員	佐藤紗穂	大樹小学校	所報・全国学調分析
所員	尾関修治	大樹小学校	所報・標準学力調査分析
所員	上西智貴	大樹中学校	所報・全国学調分析・標準学力調査分析
所員	田村陽和	大樹中学校	共同研究員・研修講座

# 令和8年度 広尾町教育研究所の事業

広尾町教育研究所長 和嶋 康彦

## 1 活動方針

- (1) 広尾町の教育における今日的な課題を受け、課題解決の方策を探り、教育実践に役立つ資料提供に努め、町教育の推進・充実に資する。
- (2) 所員研修を深め、資質向上に努める。
- (3) 事業計画を明確にし、互いに連携して業務の迅速な処理に努める。

## 2 所員構成と業務分担

職名	氏名	所属	担当業務	職名	氏名	所属	担当業務
所長	和嶋 康彦	豊似小	全体統括	所員	米屋 茉莉 (大庭奈穂子)	広尾小	共同研究 (ICT)
副所長	三木 俊治	広尾小	総務・所報・ 会計	所員	辻本 一貴	豊似小	ICT
所員	武内 周子	広尾中	生徒指導 (主催講座)	主事	畑田隆之介	町教委	総務

## 3 今年度の活動

### (1) 所員会議

ア 年8回開催し、業務の推進を図る。

### (2) 主催講座(2学期の実施を目途に計画) ※共同研究員による主催講座

<参考>

令和6年度	令和7年度	令和8年度
令和6年11月18日(月) 15:00~ 広尾中学校 2階図書室	令和7年11月19日(水) 15:00~16:15 広尾中学校 集会室	令和8年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇
講演:「無力感、無気力、不登校傾向生徒との関わり」	講演:「不登校対応に求められる学校体制と生徒指導」	講演:「未定」
講師:社会医療法人北斗 臨床心理士 齋藤 匠真氏	講師:社会医療法人北斗 臨床心理士 齋藤 匠真氏	講師:未定

ア 日時

イ 演題 「ICT機器を活用した授業実践」または「特別支援教育」等(仮)

ウ 講師

(3)調査・研究(ICT 実技研修会:年2回程度 生徒指導研修会:年1回程度)  
年間スケジュール(案)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会 議	所員氏名報告	所員会議①	所員会議②	所員会議③		所員会議④
発 刊				所報92号発刊		
業 務	各校所員氏名報告 共同研究員氏名報告	今年度の研究所業務について確認・協議	ICT 研修講座企画・準備 第1回 ICT 研修講座開催			主催講座企画・準備 第2回 ICT 研修講座企画・準備

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会 議	所員会議⑤		所員会議⑥	所員会議⑦	所員会議⑧ 報償費	
総 務						所報93号発刊
業 務	主催講座企画・準備 第2回 ICT 研修講座企画・準備	主催講座	第2回 ICT 研修講座企画・準備 第2回 ICT 研修講座開設		今年度の反省と次年度の計画	

※ その他、必要に応じて調査・研究を行う。

(4)研究所員の資質向上

ア 各種講座・研究会等

- ・管内教育研究所連絡協議会総会 (令和8年 5月28日(木))  
十勝研修センター
- ・十勝管内教育研究所所員研修会 (令和8年 7月 2日(木))  
芽室町中央公民館
- ・道東地区教育研究所所員研修会 (令和8年 8月20日(木)・21日(金))  
オホーツク・文化交流センター
- ・とちぎ教育講演会 (令和8年11月12日(木))  
オンライン
- ・十勝教育研究所発表大会 (令和9年 2月 4日(木))  
オンライン

(5)十勝教育研究所との連携(共同研究員)

ア 共同研究を通じた十勝教育研究所との連携・協力

(6)所報による情報発信(総務)

ア 今年度の事業計画・ICT研修会 等(7月)

イ 生徒指導研修会、ICT研修会、主催講座等、事業報告 等(3月)

4 活動のまとめ

(1) 生徒指導提要の理解促進に係る資料(講演会等資料の活用)

(2) 所報「ひろお」No.92、93

5 研究推進における諸課題

(1) 生徒指導研修会(年1回程度)

(2) ICT研修会(年2回)

(3) 主催講座(年1回)

(4) 小学3・4年生社会科資料集「ひろお」の方向性の検討・推進



広尾サンタランドのイメージキャラクター「さーたちちゃん」 ▲

# 令和8年度 幕別町教育研究所 事業計画

## 1 活動方針

- 1 本町における教育の進展改善に資するため、教育研修資料の収集や教育の専門的事項の調査研究を進めるとともに、実践的研修機会および教育実践に役立つ資料の提供に努める。
- 2 教育研究所員が研修を深め、本町教育の今日的課題を明らかにするとともに、関係各機関との連携をよりいっそう強め、研究研修の質の向上を目指しその課題解決に努める。

## 2 事業内容

### 1 研究・研修

- (1) 生徒指導の機能を生かした学級・授業づくりの研究・研修
  - ①Q-Uを活用した集団づくりに関する研究
  - ②Q-Uテストへの理解を深める研修
- (2) 学校ICT利活用推進に関する研修
  - ①GIGA スクール構想、学校DXに係る調査研究
  - ②一人1台端末活用推進に係る研究 ～ ロイロノートの利活用について
- (3) 幕別町の子どもの学力についての研修
  - ①学力調査による分析
  - ②十勝管内教育研究所所員研修会「学び部会」提言
- (4) 副読本改訂に向けた調査
  - ①十勝管内における小学校社会科3・4年生副読本の調査・分析

### 2 各種調査研究への協力

### 3 広報事業

- (1) 「所報」の発行 No.88（10月上旬） ・ No.89（2月下旬）
- (2) 「研究紀要」の発行（2月下旬）

### 4 十勝教育研究所との連携

- (1) 共同研究への参加と研究成果の還流（所員の派遣：十勝研究所からの依頼を校長会で調整）
- (2) 研修会等

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| ①十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会   | 5月28日（木）*所長参加予定       |
| ②十勝管内教育研究所所員研修会（芽室）       | 7月2日（木）*全員参加予定        |
| ③道東地区教育研究所員研修会（網走）        | 8月20日（木）21日（金）*所長参加予定 |
| ④第81回北海道教育研究所連盟研究発表大会（釧路） | 8月27日（木）28日（金）*所長参加予定 |
| ⑤教育講演会                    | 11月12日（木）*全員参加予定      |
| ⑥十勝教育研究所研究発表大会            | 2月4日（木）*全員参加予定        |

### 5 北海道教育研究所連盟との連携

- (1) 研修会等
  - ①連盟総会及び所長研修会
  - ②教育研究所夏季所員研修会
  - ③北海道教育研究所連盟研究発表大会

6 その他

(1) 研修会等

①「こだまの会」主催の研修会

セミナー（夏季）／こだま塾（冬季）

②十勝管内教育委員会連絡協議会研究指定校発表会

2月下旬 研修センター

③ 所員の構成と担当 ※敬称略

十勝教育研究所共同研究員

職名	氏名	所属学校	担当		
所長	島田 諭	忠類小	新規	総括、渉外	
副所長	斉藤 雅彦	札内北小	新規	事務局、会計、全体統括	
所員	今井 祥子	まくべつ学園前期	新規		
所員	高平 昂太	白人小	継続		
所員	三上 雅代	札内南小	新規		
所員	川崎 将	札内北小	新規		
所員	小倉 康生	まくべつ学園後期	継続		
所員	坂下 凜樹	札内中	新規		
所員	中山 開	札内東中	継続		
所員	横山 はる美	忠類中	新規		

④ 所員会議・研修会議の計画（15：00～）

回	内容（昨年度実績）	令和8年度予定
第1回	・辞令（委嘱状）交付 ・令和8年度事業推進について	5月14日(火) 町教委会議室 15:00～
第2回	・各事業推進予定について ・事業部会	6月 3週ころ 札内北小学校 15:00～
第3回	・所員研修会 ・各事業推進について（各担当より）	7月 3週ころ 札内北小学校 15:00～
第4回	・研修会、研究会参加対応 ・各事業推進について（各担当より）	8月 3週ころ 札内北小学校 15:00～
第5回	・各事業推進について（各担当より）	9月 2週ころ 札内北小学校 15:00～
第6回	・各事業推進について（各担当より）	10月 2週ころ 札内北小学校 15:00～
第7回	・各事業推進について（各担当より）	11月 2週ころ 札内北小学校 15:00～
第8回	・各事業推進について（各担当より）	12月 3週ころ 札内北小学校 15:00～
第9回	・各事業推進について（各担当より）	1月 4週ころ 札内北小学校 15:00～
第10回	・各事業推進について（各担当より）	2月 3週ころ 札内北小学校 15:00～
第11回	・年度末反省、次年度へ向けて	3月 2週ころ 札内北小学校 15:00～

※会場や時間等については変更の可能性があります。

※「Zoom」を活用したオンラインでの会議や打合せをおこなう場合があります。

# 令和8年度 池田町教育研究所事業計画

## 1 活動方針

研究所は本町における学校教育の進展、改善に資するため教育に関する専門的な事項の研究並びに教職員の研修に役立つことを目的とする。

## 2 事業計画

### (1) 小中一貫教育の導入・推進（義務教育学校へ向けて）

- ① 検討部会での協議内容等の調整（調整会議）  
6月18日（木） 10月27日（火） 12月16日（水） 1月27日（水）
- ② 推進に向けた取組方策の取りまとめ
- ③ 小中各校での連絡調整、事業推進体制整備
- ④ 管内先進校視察および情報収集・提供

### (2) 広報事業

- ① 「池田町教育研究所だより」の発行配布（6月・3月）

### (3) 十勝教育研究所との連携

- ① 5月28日（木）14:00～ 十勝管内教育研究所連絡協議会・所長研修会【研修センター】
- ② 7月 2日（木）13:00～ 十勝管内教育研究所所員研修会【芽室町中央公民館】
- ③ 8月20日（木）13:00～ 道東地区教育研究所所員研修会  
～21日（金） 【網走市オホーツク・文化交流センター】
- ④ 8月27日（木） 道研連研究発表大会【釧路町】  
～28日（金）
- ⑤ 11月12日（木）15:00～ 教育講話会【オンライン】
- ⑥ 2月 4日（木）14:30～ 十勝教育研究所研究発表大会【オンライン】

### (4) 社会科副読本の編集計画

- ・次期学習指導要領を見据えた準備

## 3 活動スケジュール

月	内 容	備 考
4	所員選出	小・中から3名ずつ
5	予算申請 11日 第1回所員会議 14日 第2回所員会議	26日 中学校訪問(体育祭総練習見学) 管内教育研究所連絡協議会・所長研修会
6	11日 第3回所員会議 所報発行(事業紹介)	18日 第1回調整会議 22日 5年生中学校登校(体力テスト等)
7	6日 第4回所員会議	十勝管内教育研究所所員研修会
8		20日～21日 道東地区教育研究所 所員研修会日 27日～28日 道研連研究発表大会
9	10日 第5回所員会議	29日 中学校訪問(合唱川-川見学)
10		5日 池中吹奏楽部小学校訪問 27日 第2回調整会議
11		教育講演会 24日 中学校登校①(給食まで)
12	7日 第6回所員会議	16日 第3回調整会議
1	18日 第7回所員会議	27日 第4回調整会議
2	10日 第8回所員会議	3日 6年体験入学・中学校登校② 4日 十勝教育研究所研究発表大会
3	所報発行(研究報告) 決算報告・事業報告・事業計画	

# 令和8年度 豊頃町教育研究所事業計画

## 1 令和8年度 豊頃町教育研究所運営方針

### (1) 研究主題

「報徳のおしえ」を礎とした豊頃の特徴ある教育資源を生かし、  
知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む学校教育の在り方を求めて

～学校教育と家庭及び地域における実践・評価の一体化の探求～

### (2) 基本方針

豊頃町の今日的な教育課題を受け、その解決のための方策及び各校の教育実践に有用な教育研究に努める。

### (3) 活動重点

- ① 町教育行政執行方針の具現化に向けた調査・研究
- ② 町内各校の教育上の課題・要望等に応える資料収集及び提供
- ③ 十勝管内外の教育研究機関との連携及び研修機会の活用

### (4) 会議

- ① 定例会議：年5回程度
- ② 臨時会議：必要に応じて所長が召集

## 2 令和8年度教育研究事業及び担当

	業務	主な内容	担当
1	学力・体力向上に関わる研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の手引きの改訂</li> <li>・確かな学力の定着化の方策研究</li> <li>・授業力向上研修会（学芸大学との連携）</li> </ul>	所長・次長 所員
2	報徳のおしえが生きる授業支援 実践資料の作成 報徳に関する研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりを支援する情報提供</li> <li>・教育実践の創造</li> <li>・報徳の精神について、町内の有識者を招き講演会形式での研修</li> </ul>	全所員
3	ICT活用教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用した授業づくりを支援する情報提供</li> <li>・教育実践の交流</li> </ul>	所長・次長 所員
4	社会科副読本の活用・実践交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度改訂版社会科副読本の実践交流や修正箇所等の確認</li> </ul>	所長・次長 所員
5	広報活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月：巻頭言、活動方針、業務内容、所員紹介</li> <li>・3月：巻頭言、活動報告、情報提供等</li> <li>・3月：豊頃町の教育発刊</li> </ul>	所長・次長
6	十勝教育研究所共同研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究員としての所員派遣</li> </ul>	所員

### 3 令和8年度管内・道東等教育研究所関連事業について（予定）

- ① 十勝管内教育研究所所員研修会 7月2日（木）芽室町  
藤川所長・中野次長・所員 参加
- ② 道東地区教育研究所所員研修会  
8月20日（木）～21日（金）網走市  
藤川所長・中野次長・所員 参加
- ③ 第81回北海道教育研究所連盟研究発表大会（釧路大会）  
兼 第68回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会  
8月27日（木）・8月28日（金）（Zoomハイブリッド開催） 対象／全所員
- ④ 十勝教育研究所講演会  
11月12日（木） 対象／全所員
- ⑤ 十勝教育研究所研究発表大会  
令和9年2月4日（木） 対象／全所員

※十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会  
令和8年5月28日（木）開催

### 4 豊頃町教育研究所組織構成

所長	藤川 淳（大津小 校長）	所員	鈴木 章大（豊頃中 教諭）
次長	中野 真一（豊頃小 教頭）	所員	藤原 悠大（豊頃中 教諭）
所員	森田 昌宏（豊頃小 教諭）	事務局長	齋藤 学（教育委員会教育課長）
所員	近藤 正晃（豊頃小 教諭）	事務局次長	福田 茂（教育推進員）
所員	金 隆義（大津小 教諭）		

# 令和8年度 浦幌町教育研究所事業計画

## 1 活動方針

- (1) 児童生徒が主体となる授業づくり及びそのツールとしてのICT活用
- (2) 浦幌の子どもの学力向上の推進
- (3) 所報を継続発行し、教育関連の情報提供や研究所事業の啓発に努める。
- (4) 教育関係機関の研究に積極的に参加し、各校に還元する。

## 2 事業計画

- (1) 児童生徒が主体となる授業づくり及びそのツールとしてのICT活用  
浦幌町教育委員会として令和8年度の学校教育の重点課題に位置付けている下記2点について研究し、成果をとりまとめる。
  - ・「子どもたち一人一人が「何ができるようになったか」という視点から作られ、子どもたちが主体的に課題解決に取り組む時間になること
  - ・ICT活用についても、「学び、生きる主体は子どもたちである」という前提に立ち、子どもたちがテクノロジーの賢い使い手となれる取組を進めること
- (2) 学力分析資料「浦幌の子どもの学力」の発行  
子どもたち一人一人の可能性を引き出すためには、学力や学習の状況を把握・分析し、学校や教育委員会の取組の改善・充実につなげる検証改善サイクルが重要である。  
昨年度、本研究所で取り組んだ成果も踏まえ、東京書籍の標準学力調査の結果に係る分析及び課題克服のための取組の交流等を通じて、各学校の学習指導の改善・充実等に生かせるよう、調査・研究を進める。
- (3) 浦幌町教育研究所「所報」の発行  
教育研究所の事業内容の理解、教育情報の提供、学校間の連携に役立てる。
- (4) 初等中等教育段階における生成AIの利活用について  
急速に普及している生成AIについて、学校現場における活用のあり方を検討するため、教職員自身がその仕組みや特徴を理解できるよう、昨年度に続き研修会を実施し、運用についての方針を取りまとめる。
- (5) 浦幌町教育研究所の事業内容および組織等の見直しと検討  
教育研究所の事業内容、運営組織について検討を加え、望ましい運営を図る。
- (6) 十勝教育研究所および他町村研究所等との連携、協力  
管内各研究所と連携し、研究交流を行うとともに、十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員への協力を行う。
- (7) 各種教育研究所研修会への参加
  - ・十勝管内教育研究所所員研修会
  - ・教育講演会
  - ・十勝教育研究所研究発表大会
  - ・北海道教育研究所連盟研究発表大会
  - ・道東地区所員研修会
  - ・その他

## 3 本年度発行予定の研究紀要および研究資料

- (1) 学力分析資料「浦幌の子どもの学力」発行
- (2) 浦幌町教育研究所「所報」の発行（年2回～7月、3月）
- (3) 研究収録「浦幌町の教育」発行

# 令和8年度 本別町総合教育研究所 事業計画

## 1 目的

生涯学習の視点に立った総合的な調査研究を行い教育の振興を図る。

## 2 活動方針

- (1) 今日の課題や状況を的確に把握・洞察し、本別町教育の充実を期す。
- (2) 町民や各学校、関係機関の要望や意見等を取り入れながら調査・研究を行い、学校教育及び社会教育推進の資料を提供する。
- (3) 管内等の各研究団体と交流し、所員自らの研修に努めるとともに研究所の適切な業務推進を図るよう努める。

## 3 事業計画の概要

### (1) 学校教育部

- ①本別町の児童・生徒の学力向上にかかわる取組支援
- ②ICT 機器の活用に関する取組支援
- ③学習指導要領の改訂に係る情報収集と副読本作成のための計画
- ④所報『還流』の発行（10月・2月予定）
- ⑤既刊紀要・研究成果等の活用促進、研究図書への購入・管理
- ⑥十勝教育研究所との連携（共同研究員の派遣）
- ⑦所員研修の推進
- ⑧その他

### (2) 社会教育部

- ①「ほんべつ学びの日」の推進に関する改善・充実
- ②社会教育活動先進地等の視察・研修
- ③十勝教育研究所との連携
- ④その他

## 4 所員名一覧

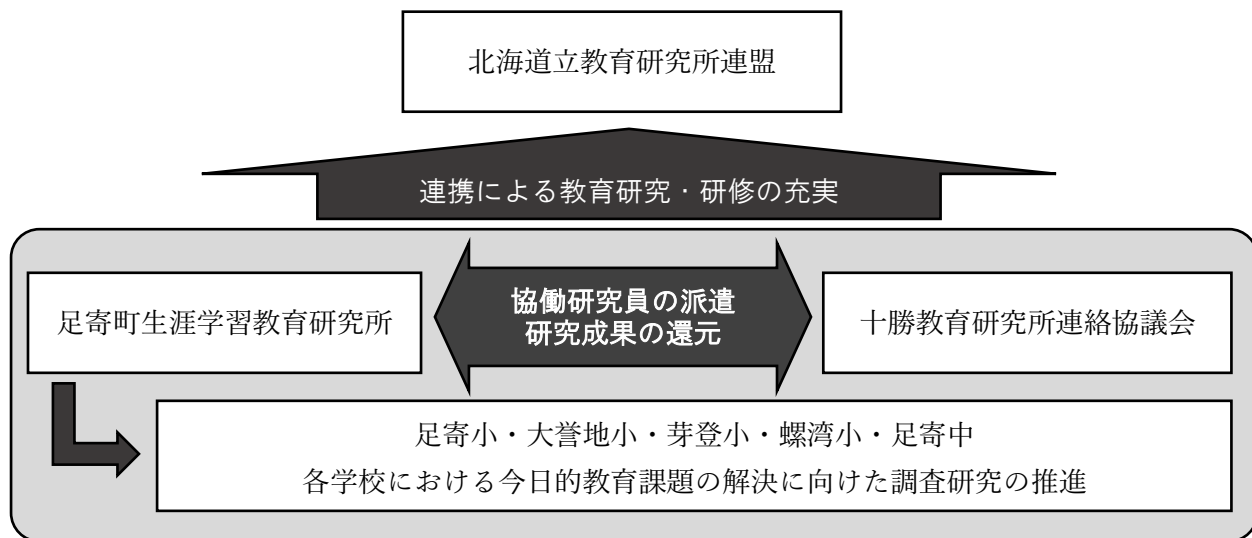
職名	氏名	学校名等	所属・業務分担
所長	宮崎 哲	勇足小学校	学校教育部
所員	坂田 香織	勇足小学校	社会教育部
//	幾島 佑真	本別中央小学校	学校教育部 共同研究員
//	佐藤 幸江	勇足小学校	学校教育部
//	菅原 賢也	本別中学校	学校教育部
//	下前 滋	勇足中学校	学校教育部
副所長	志戸田由美子	社会教育委員	社会教育部
//	重堂 法人	本別高校・社会教育委員	社会教育部
//	福良 亜子	社会教育委員	社会教育部
//	森本 聡	本別町教育委員会	学校教育部（教育指導員）

## 5 学校教育部所員の派遣

- (1) 十勝管内教育研究所連絡協議会総会（5月28日） <所長>
- (2) 十勝管内教育研究所所員研修会（7月2日） <全所員>
- (3) 教育講演会（11月12日） <全所員>
- (4) 道東地区教育研究所所員研修会（8月20日） <全所員>
- (5) 十勝教育研究所研究発表大会（2月4日） <全所員>

# 令和8年度足寄町生涯学習教育研究所 事業推進計画

## 1 足寄町生涯学習教育研究所事業推進の構図



## 2 足寄町生涯学習研究所の役割 ～「人づくりの町 足寄町」の構想を受けて～

平成9年3月13日に制定された条例に基づき「足寄町生涯学習教育研究所」として、足寄町教育目標の具現化を図るものとする。そのため、第6次足寄町教育振興計画に基づき、重点目標である「生きる力を育む教育環境づくり」の実現に向け、調査研究を行うこととする。

## 3 令和8年度足寄町生涯学習教育研究所研究主題

### 【北海道立教育研究所連盟】

- 一人一人の子どもを主語にする学校教育の実現に向けて

### 【足寄町の子どもに育む資質・能力】

- 多様な他者との関わりを基盤としたコミュニケーション能力の育成

### 【足寄町生涯学習教育研究所】

- 小中高12年間を見通した足寄の子どもたちの学びの充実  
～資質・能力の育成に向けた校種間連携の在り方～

## 4 取組内容

- ・小中高12年間を見通した学びの構築、系統的な英語教育の推進
- ・副読本のデジタル化に向けた調査研究
- ・刊行物の発行
- ・生涯学習に関すること
- ・十勝教育研究所との共同研究推進

## 5 足寄町生涯学習研究所 所員・協力員一覧

所長 喜多 徹 (螺湾小)	副所長 松原 宏一 (螺湾小)	所員 荒田 麻結 (足寄小)
所員 今井 悠平 (足寄小)	所員 西田 智草 (足寄小)	所員 柴崎 史耶 (足寄中)
所員 大島 譲 (足寄中)	所員 西岡 潤 (委員会)	所員 天野 莉那 (委員会)
所員 葛 良樹 (委員会)	協力員 小池 友子 (大誉地小)	協力員 星加翔太郎 (芽登小)
協力員 佐藤 琴美 (螺湾小)		



# 令和8年度 陸別町教育研究所 事業計画

## 1 活動方針

- (1) 陸別町の各校が直面する教育課題の解決に役立てるため、調査・研究事業を推進する。
- (2) 研究所事業の内容充実と所員の資質向上を図るため、管内、道東で開催される研究所員等を対象とした研修事業に参加する。

## 2 事業計画

- (1) 陸別の子どもの学力調査
  - \* 調査結果について教育課程の改善資料として各学校に提供する。
  - \* 各教科の内容系統表（学力検査の結果や学習指導要領等を基に R7 までに作成）の効果的な活用促進に資する情報を各学校に提供する。
- (2) 陸別の子どもの体力調査
  - \* 小・中学校での体力テストの結果を基に、傾向を調査して、その実態を把握する。
  - \* 調査結果については、活用できるよう各学校に配布する。
- (3) 陸別町小・中学校一貫教育推進事業への協力
  - \* 小・中学校一貫教育に関する資料を収集して各学校に提供する。
- (4) 十勝教育研究所事業への協力
  - \* 田林 有紀（陸別小学校）：十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員
- (5) 「研究所だより」の発行（7・3月予定）
- (6) 研究所員等を対象とする研修会への参加
- (7) 家庭学習の手引き・『陸別学習プラン』『陸別生活プラン』活用の検証
- (8) ICT教育の推進
  - \* 小中一貫教育推進委員会研修部会との連携を深め、ICT活用に関する情報を収集する。
  - \* 校務及び授業における生成 AI 活用に関する情報を収集する。

## 3 本年度発行予定の研究紀要、まとめ等

- \* 事業計画（1）（2）に関する資料を作成予定

#### 4 所員名・所属名・分担等

職名	氏名	所属学校	主な分担業務
所長	佐藤 貴光	陸別小学校	全体統括
副所長	後藤 昭史	陸別小学校	庶務、記録集作成、所報の発行
所員	田林 有紀	陸別小学校	調査、資料作成、共同研究員
所員	佐々木 初	陸別中学校	調査、資料作成、共同研究員

※令和6年度より陸別町教育研究所の所員は小中一貫推進委員会研修部員で構成する。

#### 5 その他（予定）

- 4月22日（水） 北海道教育研究所連盟総会（遠隔）
- 5月 日（ ） 第1回所員会議
- 5月28日（木） 十勝管内教育研究所連絡協議会総会・所長研修会
- 6月 日（ ） 第1回十勝管内教育研究所連絡協議会共同研究員会議
- 6月 日（ ） 第2回所員会議（陸別小・校長室を予定）
- 7月 2日（木） 十勝管内教育研究所所員研修会（芽室）
- 7月 日（ ） 所報「りくべつの教育」第1号発行予定
- 7月 日（ ） 道研連夏季所員研修会（遠隔）
- 8月20日（木）～8月21日（金） 道東地区教育研究所所員研修会（網走大会）
- 8月27日（木）～8月28日（金） 北海道教育研究所連盟研究発表大会（釧路大会）
- 9月 日（ ） 第3回所員会議
- 11月12日（木） 十勝教育研究所教育講演会（遠隔）
- 11月 日（ ） 道研連冬季所員研修会（遠隔）
- 12月 日（ ） 第4回所員会議
- 2月 4日（木） 十勝教育研究所研究発表会
- 2月 日（ ） 第5回所員会議
- 2月 日（ ） 第6回所員会議（報告会）「1年間の反省と次年度に向けて」
- 3月 上旬 所報「りくべつの教育」第2号発行 予定

※随時、部員・協力員による部会を行う。（開催日時について事務局に報告する）

※各種所員研修会・研究発表大会は、全員参加を基本とする。

# 令和8年度 帯広市教育研究所 事業計画

## 1 運営方針

教育研究を総合的な見地から立案し、その計画に基づいて実証的・科学的に研究を進める。また、各学校や教育関係機関と密接に連携を図りながら、市民の教育的要望に応えるよう努める。

## 2 主な事業計画

### (1) 学習指導・評価に関する研究

標準学力調査の結果を基に「帯広の子どもの学力」を作成するとともに、調査結果に基づき指導の在り方に関する実践的研究の推進

### (2) 社会科副読本及びおびひろ市民学に関する研究

小学校第3・4学年 社会科副読本「おびひろ」に関する研究及び市内全小・中学校及び義務教育学校で実施している「おびひろ市民学」に関わる指導方法の研究の推進

### (3) 学級経営に関する研究

学級活動の充実に係る研究や資料作成及び特別支援教育の視点を踏まえた学級経営の在り方等に関する研究の推進

### (4) 情報教育に関する研究

1人1台端末の効果的な活用に係るアプリ等の作成や情報発信及び学校へ出向いての研修出前講座の開催

### (5) 生徒指導に関する研究

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の分析及び学校個票に係る資料作成への協力

### (6) 教職員の研修に関する研究

学校の現状や教師のニーズに即した人間力等も含めた資質能力の向上に向けた研修プログラムに関する研究の推進（長期休業中における教職員研修、ヒバリーカフェ・1st（新規）、ヒバリーカフェ、管理職マネジメント研修（新規）、エキスパート等）

## 3 本年度発行予定の研究紀要等

- (1) 「帯広の子どもの学力」
- (2) 「授業改善通信」
- (3) 「地域学通信」
- (4) 「学級づくり通信」
- (5) 「GIGA サポ」（webサイト）
- (6) 「生徒指導通信『B r i d g e 』」
- (7) 「副読本『おびひろ』に係る映像資料」

## 4 所員名、所属名、分担等

職名	氏名	所属
所 長	傳法谷 肇	市教委
指 導 主 事	佐々木 卓 郎	市教委
指 導 主 事	重 堂 真 也	市教委
調査研究専門 指 導 員	池 下 栄里子	市教委
事 務 員	橋 本 民 枝	市教委
主 任 所 員	中 正 憲	南町中
所 員	佐 藤 太 紀	帯広小
	村 居 拓 郎	明星小
	成 田 亜 希	北栄小
	小笠原 彩 香	光南小
	小 黒 恵二郎	東小
	宮 下 承 久	稲田小
	阪 本 智	豊成小
	山 田 悠 介	啓北小
	平 野 雄 太	開西小
	安 田 志 芳	つつじが丘小
	塩 見 勇 輝	大正小
	笹 子 未 来	帯広第一中
	能 登 ことみ	帯広第五中
	広 瀬 拓	翔陽中
山 梨 政 拓	川西中	
上 野 嗣 弥	大空学園	



(写真) 令和8年度教育研究所員辞令交付式

# 令和8年度 十勝教育研究所 事業計画



## ○ 研究機関としての研究

### ◇ 十勝管内教育研究所連絡協議会 共同研究

管内 19 市町村の教育研究所と十勝教育研究所が一体となって、授業実践を通じた研究を進めます。

「自ら学び続ける子どもを育む研究」 2 / 2 年次

～問いを生かす単元デザインと、振り返りから次を見通す学びの実現～



内発的動機としての問いを生かす単元デザインと、学びのサイクルとしての振り返りと見通しのつながりをテーマに据え、自ら学び続ける子どもを育みます。

### ◇ 十勝教育研究所 協力員研究

管内の小・中学校各 1 校の協力を得て、協力員 2 名を委嘱し、授業実践を通じた研究を進めます。

「当事者意識をもち、社会の変化と主体的に向き合う子どもを育む研究」 1 / 2 年次  
～キャリア発達課題を踏まえた指導計画と自己の生き方・在り方を探究する学習展開の工夫を通して～



特別活動を要として各教科等で育んだ資質・能力を横断的につなぎ、自分らしい生き方を実現するキャリア教育を推進し、社会の変化と主体的に向き合う子どもを育みます。

## ○ 関係機関との連携

### ◇ 全国教育研究所連盟

十勝管内を代表する加盟研究所として、発表大会や研究協議会等に参加し、加盟機関相互の連携を深めるとともに、必要な情報を収集・提供します。

### ◇ 北海道教育研究所連盟

十勝管内を代表して連盟委員の役割を担っています。

共同研究に協力するとともに、研究発表大会に参加し、相互の研究成果交流を通して、北海道教育の充実・発展に寄与し、必要な情報を収集・提供します。



### ◇ 道東地区教育研究所連絡協議会

道東地区教育研究所所員研修会に参加・提言するとともに、加盟機関相互の連携を密にして道東地区教育研究の充実を図り、必要な情報を収集・提供します。

### ◇ 十勝管内教育研究所連絡協議会

十勝管内全ての教育研究所との連携を密にし、教育研究の充実を図り、十勝教育振興に寄与します。



## ○ 教育研究相談・資料の提供

### ◇ 教育研究相談

十勝の学力分析を基にした授業改善、調査研究成果を用いた研修などの相談に応じます。

### ◇ 研究紀要（デジタル版）

十勝教育研究所が調査・研究した成果を資料として提供します。昨年度より冊子の発行を止め、ホームページに掲載します。



- ◇ **学習指導資料「十勝の子どもの学力」(実践例をホームページで公開)**  
十勝全体の子どもの学力を分析・考察し、学習指導を改善・充実するための基礎的・実践的な資料を提供します。
- ◇ **広報誌「十勝教育研究」(デジタル版)**  
学校や個人の取組、町村研究所の紹介、十勝教育研究所の事業など、最新の情報をホームページでお伝えします。
- ◇ **カリキュラム支援センター(デジタル化の取組も推進)**  
各種教育用図書や各学校・研究所の研究紀要などを教育情報・資料として提供します。
- ◇ **Web サイト**  
十勝教育研究所のホームページにて、各種調査研究の公開や研究大会の案内等を行います。また、LINE を活用し、利用の促進を図ります。
- ◇ **教育関係職員録**  
市町村教育委員会と連携し、合冊本として刊行します。



### ○ 講演会・研修会の開催

- ◇ **十勝管内教育研究所所員研修会(芽室大会)・・・7月2日(木)**  
十勝管内における各研究所の今日的課題と役割を明確にし、相互の研究成果の交流を通して研究所員の力量を高めます。
- ◇ **教育講演会・・・11月12日(木)**  
今年度は、早稲田大学准教授・文部科学省学校DX戦略アドバイザーである大村龍太郎氏を講師に「次期学習指導要領を見据えた『授業と学級経営のDX』(仮)」と題した教育講演会を実施します。
- ◇ **十勝教育研究所研究発表大会・・・2月4日(木)**  
調査研究成果をオンラインで発表し、研究協議・交流を行います。
- ◇ **研修講座「授業づくり」特設講座・・・7月29日(水)**  
共同研究と協力員研究の成果に基づいた「自己調整学習」「情報モラル」に関する授業づくりの講座です。



### ○ 業務分担

職名	氏名	所属	主な業務分担
所長	横山利幸	専任	所務の掌理 道研連、全教連、管内各教育機関・団体との連携
副所長	天野健治	札内北小	調査・研究及び研修事業の統轄、業務推進に関する指導・助言、教育研究相談
主幹	所長兼務		庶務の整理、十勝教育研究所運営委員会の開催、各種会議(モニター会議、調査委員会等)の開催、教育関係職員録の編集
主任	佐藤悠樹	音更中	所内・業務計画会議の企画、教育講演会、研究発表大会、管内所員研・道東研・道研連発表大会、共同研究、教育研究相談
副主任	中村俊太	鈴蘭小	共同研究、研究紀要、研究発表大会(発表)、広報誌「十勝教育研究」、研修講座、LINE 公式アカウント運営、教育研究相談
所員	千葉直哉	共栄中	協力員研究、研究紀要、研究発表大会(発表)、学習指導資料「十勝の子どもの学力」、研修講座、web サイトの企画運営
所員	宮崎広樹	札内東中	協力員研究、広報誌「十勝教育研究」、研修講座、LINE 公式アカウント運営
所員	斎藤ありさ	まくべつ学園	共同研究、広報誌「十勝教育研究」、学習指導資料「十勝の子どもの学力」、web サイトの企画運営、カリキュラム支援センター、研修講座
書記	清水悦子	専任	庶務、会計、参考資料の管理